

疑ひつゝ、ある所以なり然るに何ぞ計らん協調會の理事たる和田豊治氏を社長とする富士瓦斯紡績株式會社に於て恐慌襲來の爲め労働者の失業に悩むか奇貨として大正三年以來完全に繼續し來れる現在會員一千八百餘名を有する友愛會紡績押上支部の團結力を突如として否認し陋劣なる手段を以て之を威嚇せんとするは労働者に取つては死活の問題なり而して之を否認せんとするものは協調會の理事和田豊治氏なり協調會は最も進歩的思想を抱き熱誠を以て労働問題の解決に當る事を聲明す然らば斯くの如く重大なる事件に對しては其の態度を明らかにして意の存する所を明らかに聲明するは其れ當然の義務なり我等は茲に公開狀を發して其の事件に對する協調會の態度の聲明を促す所以なり。

十一、澁澤男の奔走

右公開狀の發せられし夜、某紙の一記者此の公開狀の全文を齎らして大磯の別邸に静養中の澁澤男を訪ひ、富士紡績業問題と此公開狀に就き協調會に於て事實上會長の地位にある男の意見を求めたり。男は富士紡績業問題を憂慮しつゝある旨を語り「友愛會が公開狀に於て、和田社長が協調會理事たる關係を指摘し、富士紡績業問題に關し協調會も其の責を預たざるべからざる如く云ひ存せるも、富士紡績會社に於ける和田氏は協調會の理事としての和田氏にあらずして、一營利會社の社長即ち株主の代表者としての和田氏にして、其の立脚點は全然相違せるものなり。例へば政友會の總裁原敬氏と首相としての原敬氏とは自から立場を異にするが如きなり。協調會としては勞資爭議の調停を會の重要な事業の一として數ふるも、創立日尙ほ淺く、未だ其の陣立も整はざる有様にて、意ありて準備

之に伴はざるは遺憾なり。友愛會の公開狀の言分にも尤もなる節あり、されど友愛會が今日斯の如き問題に逢著せるは畢竟友愛會が從來取り來りし惡しき方針の酬ひと觀られざるにあらず、即ち衆を得れば力を恃み事に臨みて力づくにて解決せんとしたる嫌ひなきにあらず、之れ今日企業家の友愛會を危険視する所以なり。さはれ協調會としては捨て置けざる問題なれば、余も十九日別に所要あり上京すべきを以つて、其の上にて雙方の隔意なき諒解を得べきやう及ぶ限り盡力したし。

男は其搖籃の時代より目をかけし友愛會より男の畢生の事業として老の心身を捧げつゝある協調會に對して暗に其の無爲を諷して挑戰的態度を取れる公開狀に對し、内心非常の不滿を感じたるに相違なく、其の言動の一端にも之を觀取すべし。

翌十七日は桑田博士大磯に赴き、友愛會より發せられたる公開狀問題に就き澁澤男と協議を遂げた上歸京し、直ちに公開狀に對する回答的意見書の文案を作成して、之を桑田、谷口、鹽澤、河津の諸博士出席せる定例理事會の議とし、超えて二十日前日歸京せる澁澤男と會見して定例理事會を経たる此案を示して、此處に回答文は決定的のものとなり、二十一日午後華族會館に臨時理事會を招集し桑田常務理事の起草せる意見書文案を附議可決し、桑田常務理事の陳述の形式を以て同日午後六時に到りて之を發表したり。當日の出席者及意見書全文左の如し。

出席者 會長 徳川家達 副會長 清浦奎吾 同上 澁澤榮一